タンザニア月報（２０２３年４月分）

１　タンザニア一般事項（政治、社会等）

1. **サミア大統領、与党革命党中央委員会特別会合を主催（１日付、デイリーニュース紙）**

サミア大統領は、ダルエスサラームで与党革命党中央委員会特別会合を主催。先月末提出された会計監察検査官及び汚職撲滅委員会の報告書に基づき、国家開発公社（NDC）、タンザニア航空、国家鉄道公社他の非効率で成果の上がらない公社公団の改編などについて議論。

1. **サミア大統領、タンザニア鉄道公社（TRC）取締役会を解散（９日付、デイリーニュース紙）**

サミ大統領は、先般公表された会計監査検査官（CAG）の報告書に基づき、職務怠慢及び公金不正使用を指摘されたTRC取締役会を解散し、タンザニア政府航空局（TGFA）のンズルレ総裁を解任。また全次官に対してCAGの報告書を読み適切な対応を取るよう指示。

1. **タックス外務大臣、ハリス米副大統領のタンザニア訪問に関する記者会見を開催（６日付、外務東アフリカ協力省ブログ）**

米国を含む国際市場に向けた輸出を念頭に置いた電気自動車バッテリー製造に必要なニッケル精製の大型工場を２０２６年までにタンザニアに建設するとの約束を取り付けたことは大きな成果であった旨発言。また経済社会開発のために１０億米ドル以上の資金供与に関する合意にも署名したことを紹介。

1. **ファヨン・スロベニア副首相兼外相のタンザニア訪問（１３日付、外務東アフリカ協力省ブログ）**

ファヨン・スロベニア副首相兼外相が二国間関係強化を目的に３日間の日程で来訪しタックス外相、アックソン国会議長らと会談。

1. **サミア大統領、コンゴ（民）特使と面会（１７日付、デイリーニュース紙）**

サミア大統領は、ツィセケディ・コンゴ（民）大統領の特使として来訪したツィバング氏とドドマの大統領府で会談。

1. **ルワンダ大統領のタンザニア訪問（２７日付、外務東アフリカ協力省Twitterほか）**

カガメ・ルワンダ大統領はダルエスサラームを訪問。同市内の大統領府にて、サミア大統領と首脳会談を実施し、貿易分野における二国間関係を強化することで合意。

**２　経済**

1. **マジャリワ首相、リンディ州の上水事業計画を発表（１日付、デイリーニュース紙、ガーディアン紙）**

リンディ州にて１,１９０億シリングの大規模な上水事業を実施予定であることをマジャリワ首相が明らかにした。

1. **電気自動車の促進（３日付、シチズン紙）**

タンザニアでは東アフリカのどの国よりも早くE-モビリティが普及し、少なくとも５,０００台の電気自動車（EV）が存在する。エネルギー省次官は、E-モビリティへの投資を促進するためのビジネス環境整備に全力を尽くしていると述べた。

1. **建設・運輸省、タンガ港の鉄道インフラを急ぐ（３日付、デイリーニュース紙）**

建設・運輸副大臣は、タンガ港で貨物を輸送するための鉄道インフラの建設を開始する手続きを急ぐよう、タンザニア港湾局（TPA）とタンザニア鉄道公社（TRC）に指示した。同鉄道は、４,２９１億円のタンガ港の改良・拡張プロジェクトと同時に完成させる必要がある旨述べた。

1. **世銀、タンザニアをデジタル変革のグローバルリーダーに指定（５日付、シチズン紙）**

タンザニアは、公共部門のデジタル変革におけるグローバルリーダーに指定された６９カ国の１つであり、先進的または革新的なデジタルソリューションを使用して優れた実践を行っているリーダーに分類された。

1. **政府、ムベヤに新ドライポートを建設予定（５日付、ガーディアン紙、デイリーニュース紙）**

タンザニア政府はムベヤ州のトゥンドゥマに新ドライポートの建設を予定している。建設・運輸副大臣によると、事業開始に向けた最後の仕上げが行われている。

1. **アザニア銀行とState Mining Corporation、小規模鉱山労働者支援における協力に合意（６日付、シチズン紙）**

アザニア銀行とState Mining Corporation (Stamico)は、小規模鉱山労働者への融資提供において協力する協定に調印した。Stamicoは、アザニア銀行が融資を行う前に、鉱物の可能性や小規模鉱山事業の技術的側面に関するコンサルティングサービスを提供する予定。

1. **政府、加の金採掘事業への賠償を拒否（６日付、ガーディアン紙）**

ムベヤ州の金採掘事業における２０１７年の採掘ライセンス取り消しを受け、加のWinshear Gold社がタンザニア政府に対して元本１億３,０００万カナダドルの賠償要求をしていたが、政府は支払いを拒否する回答書を提出。

1. **電化製品の最低エネルギー効率基準の開発提唱（６日付、シチズン紙）**

エネルギー省とUNDPが開催したエネルギー効率に係る会合にて、冷蔵・冷凍庫、テレビ、扇風機、電動モーター、エアコンの５製品をはじめとする電化製品の最低エネルギー効率基準の開発及びラベル付けの改善が提唱された。

1. **鉱業セクター、３四半期間で４,０９０億シリングの歳入（６日付、デイリーニュース紙）**

首相は、２０２２/２３年度の第３四半期までで、鉱業セクターから４,０９０億シリングの歳入があったことを明らかにした。政府は２０２２/２３年度、２６の資源市場を設置し、５つの精錬所にライセンスを発行。

1. **会計監査人、公的資金の使い込みを指摘（７日付、シチズン紙）**

会計監査人（CAG）は２０２１/２２年度の監査報告書を議会に提出し、多くの政府機関が数十億シリングにのぼる公的資金を適切に使用できていないこと明らかにした。同報告書によると、２４の公共組織の負債が資本金を上回った。タンザニア鉄道公社（TRC）は資本金の２３倍の負債を抱えており、タンザニア電気供給会社（TANESCO）の負債は資本金の３倍であった。

1. **政府、国家開発ビジョン２０５０の準備を開始（１０日付、デイリーニュース紙）**

政府は国家開発ビジョン２０５０の準備開始を発表。ムパンゴ副大統領は、２０２０年までの平均５.２％の経済成長と低中所得国入りという点で、既存の国家開発ビジョンのマイルストーンは達成されたと説明。

1. **政府、ムバンバ湾港の建設に７００億シリングを投入（１０日付、デイリーニュース紙）**

政府はムバンバ湾港の建設に７００億シリングを投入。タンザニア港湾局によると、同事業は来月から開始され、３６ヶ月で完成する予定。

1. **タンザニアにおける外国投資の増加（１１日付、デイリーニュース紙）**

政府は、３月までの３カ月間で１２億米ドル相当の外国からの投資を誘致し、２０２２/２３年度の第３四半期の投資額は、昨年の７億８７４０万米ドルと比較して４８.９％増加。

1. **タンザニア政府、２１,２００人を新規雇用（１３日付、デイリーニュース紙、ガーディアン紙）**

タンザニア政府は教育及び保健分野における２１,２００人の新規雇用機会を発表。カイルキ国務大臣は、新規雇用の１３,１３０人が教師に割り当てられ、残りの８,０７０人は保健師に割り当てられる予定と説明。

1. **タンザニアとブルンジ、多国間鉄道の入札開始（１３日付、シチズン紙）**

タンザニアとブルンジは、アフリカ大陸で２番目となる多国間鉄道の建設の設計と建設の入札を開始。タンザニアの国内SGR（タボラ-キゴマ間）線のウヴィンザからブルンジのギテガまで、約２８２キロの多国間SGR路線が建設される予定。

1. **政府、木炭と薪の使用期限を設定（１３日付、シチズン紙）**

ジャホ副大統領府大臣は、環境及び人々に有害なエネルギー使用を止めるため、木炭と薪の使用期限を設定。１００人以上が利用する施設による木炭と薪の使用は２０２４年１月３１日まで、２００人以上が利用する施設では２０２５年１月３１日までと発表した。

1. **Peak Rare Earth社、レアアース事業を開始予定（１４日付、シチズン紙）**

約３億２,０００万米ドルの建設が予想されるモロゴロ州のングアラ・レアアース事業に関し、英に本社のあるPeak Rare Earth社が来週首都ドドマで行われる枠組み合意の署名式への出席を明らかにした。

1. **IMF、タンザニアのGDP増加を発表（１６日付、デイリーニュース紙）**

IMFは、タンザニアのGDPが２０２２年の７７０億６,０００万ドルから２０２３年には８５４億２,０００万ドルに成長することを発表した。IMFの報告書によると、GDPの改善により、タンザニアは２０２３年にサハラ以南アフリカのトップ１０リストに入った。

1. **政府、鉱山企業３社と枠組み合意書に署名（１８日付、シチズン紙、デイリーニュース紙）**

政府は、オーストラリアの鉱山企業３社（Evolution Energy Minerals社、Eco Graf社、Peak Rare Earths社）と６億６,７００万米ドル相当の枠組み合意書に署名した。

1. **ムーディーズ、タンザニアの格付けをB２プラスに（２０日付、シチズン紙）**

ムーディーズは、国際社会への積極的な関与と構造改革により政治的リスクが軽減されたとし、タンザニアの格付けをB２プラスとした。

1. **東アフリカ商業物流センターの建設開始（２１日付、シチズン紙、デイリーニュース紙）**

１,９５０億シリング相当の東アフリカ商業物流センターの建設がダルエスサラーム・ウブンゴ県で開始された。中国企業による建設後には、２,０００の店舗が入り、約１５,０００の直接雇用と約５０,０００の間接雇用が創出される予定。

1. **キゴンゴ・ブシシ橋の建設、７２％の進捗（２４日付、デイリーニュース紙）**

ムワンザ州のビクトリア湖に架かるキゴンゴ・ブシシ橋の建設は７２％進捗し、２０２４年２月に完了予定。

1. **ベンジャミン・ムカパ病院、遠隔医療の提供を開始予定（２９日付、シチズン紙）**

ベンジャミン・ムカパ病院は、専門的な医療サービスを受けられない国内の遠隔地の市民を対象に、遠隔医療サービスの提供を開始予定。相互接続技術を国内のさまざまな地域とリンクさせている。

1. **新投資法、成立間近（２５日付、シチズン紙）**

投資環境の改善を目的とする投資法（２０２２年）の成立が間近となっている。新法では、２０１８年の同法改正を修正し、外国人投資家がタンザニア投資センター（TIC）や政府との紛争を国際仲裁で解決することを認めており、また最低投資資本金の引き下げ、TICによる投資家のための統合電子システム設立等を定めており、注目が予想される。

1. **政府、ダルエスサラーム・ザンジバル間の架橋建設の協議進める（２９日付、シチズン紙、デイリーニュース紙）**

建設・運輸副大臣は、ダルエスサラーム・ザンジバル間の約５０キロの架橋建設に関する協議が進んでいること、また、建設に関心のある中国企業（M/S China Overseas Engineering Group Company）と政府が会談したことを国会で明らかにした。

1. **マントラ・タンザニア社、ウラン採掘のパイロット事業を開始予定（２９日付、ガーディアン紙）**

マントラ・タンザニア社は、７月からルブマ州でウラン採掘のパイロット事業を開始する。年間５,０００kgのウラン粉末（イエローケーキ）の生産が予測されている。

**３　開発協力**

1. **英、ザンジバルのペンバ島を支援（１日付、デイリーニュース紙）**

英は、ザンジバルのペンバ島を国内外の投資家のための戦略的投資エリアとして推進するザンジバル政府のイニシアティブを支援することを約束。ムウィニ・ザンジバル大統領は、道路インフラや国際空港の建設等を支援するという英の誓約を歓迎。

1. **EU、都市開発事業を実施（２日付、シチズン紙）**

グリーンインフラ投資、地域経済成長、循環経済、電子統治を通じて都市の生活の質を高めることを目的としたEU出資の「グリーン・スマートシティー」事業の下、ムワンザにて新しいNyegeziバスターミナルや中央市場の建設が行われる。

1. **独、保全事業に１１億シリングを供与（５日付、シチズン紙）**

独政府は生物多様性と気候変動に係る事業を実施する現地NGOに１１億シリングを供与。

1. **アイルランド、マールブルグ病対策のテントをUNICEFに引渡し（７日付、シチズン紙、デイリーニュース紙）**

アイルランドはマールブルグ病対策のテントをUNICEFに引渡した。テントはカゲラ州に輸送される。

1. **米、総額１５億米ドルの支援を発表（７日付、デイリーニュース紙）**

米大使は、ハリス副大統領の訪問を総括する記者会見にて、商業活動、デジタル、女性と若者のエンパワーメント、食糧安全保障、海洋保護、健康などの分野での総額１５億米ドルの支援を発表。

1. **中国、タンザニア・ザンビア鉄道の修復に係る協力を表明（１０日付、デイリーニュース紙）**

中国大使館は、１９７０年から１９７５年にかけてタンザニア・ザンビア（タザラ）鉄道の建設中に亡くなった６４人の中国人専門家を追悼するイベントの中で、同鉄道の修復においてタンザニア及びザンビアと協力することを表明。

1. **世銀と政府、廃水処理施設を建設予定（１１日付、デイリーニュース紙）**

世銀及び政府の資金にて、ダルエスサラームのムベジビーチ地域に新しい廃水処理施設が設置される予定。１日に１６,０００m３の排水が処理され、環境汚染の軽減が期待される。

1. **世銀、タンザニアへの投資額が７２億ドルを超える（１２日付、デイリーニュース紙）**

米で開催された世銀とIMFの春の会合でンチェンバ財務・計画大臣が世銀と二国間協議を行った際に、世銀のタンザニアへの投資額が７２億ドルを超えたことが明らかにされた。

1. **蘭、スタートアップ支援のMOUに調印（１５日付、シチズン紙）**

蘭とタンザニア・スタートアップ組合は、タンザニアのスタートアップを取り巻く環境を整えるための２年間のMOUに調印した。

1. **日本、コールドチェーン設備を支援（１８日付、デイリーニュース紙）**

ワクチンの安全な保管を確保するためのコールドチェーン設備の強化のため、日本政府は冷蔵庫３９０台を供与。

1. **印、戦略的鉱物の研究開発に係る協力に合意（２３日付、デイリーニュース紙）**

印とタンザニアは、戦略的鉱物の分野における研究開発で協力することに合意した。また、鉱業分野での協力や、タンザニア地質調査所との協力による高解像度調査による地球物理学研究の発展にも合意。

1. **IMF、財政支援の第一トランシェを送金（２６日付、ガーディアン紙、デイリーニュース紙）**

IMFは、 １１億米ドルの３年間の財政支援の第一トランシェとして、１.５３億米ドルをタンザニア政府に送金。

1. **日本、１００億円の借款契約に署名（２８日付、シチズン紙、デイリーニュース紙、ガーディアン紙）**

日本は「タンザニア農業投入材支援計画」実施のため、１００億円の借款契約に署名。

**４　東アフリカ共同体**

1. **EAC、資金拠出の遅れに対する制裁を検討（８日付、シチズン紙）**

EACは、共同体への資金拠出が遅れている南スーダン、ブルンジ、コンゴ民主共和国に対し、制裁の可能性があることを明らかにした。

1. **第３８回EAC貿易・産業・金融・投資分野別協議会（Ex-SCTIFI）が開催（１０日付、デイリーニュース紙）**

キリマンジャロで第３８回EAC貿易・産業・金融・投資分野別協議会（Ex-SCTIFI）が開催され、綿・繊維・アパレル戦略、皮革・革製品戦略、自動車産業行動計画の実施の進捗を確認した。

1. **EAC閣僚理事会、単一通貨の導入時期を後ろ倒し（１１日付、シチズン紙）**

EAC閣僚理事会は単一通貨の導入時期を２０２４年から２０３１年に延期。単一通貨の完全な達成には東アフリカ中央銀行の設立が必要であり、それに先立って東アフリカ通貨研究所が設立される予定。

1. **東アフリカビジネス評議会、偽造製品による損失を指摘（１２日付、シチズン紙）**

２０１３年にEACで採択されたEAC偽造防止法案は、未だタンザニア、ウガンダ、ケニアの国内法と連携されていないため、東アフリカビジネス評議会は、EACが偽造製品により５億～１０億米ドルの損失を受けていると予測。

1. **EACの代替資金調達メカニズム、見通したたず（１８日付、シチズン紙）**

EACの代替資金調達メカニズムは構想から２０年以上たった今でも見通しが立っておらず、活動資金の一部をドナーの支援に依存している。東アフリカ立法議会（Eala）の報告書では、閣僚理事会が同メカニズム構築に係る明確な時間枠を設定しなかったことが指摘された。

1. **共通外部関税のデジタル化（１９日付、シチズン紙）**

世界税関機構（WCO）の支援を受け、共通外部関税（CET）のデジタル化作業が開始された。コンピュータと携帯端末の両方からアクセスできるプラットフォームにより、輸出入業者は国際貿易における民間セクターの貿易情報や関税減免制度等の情報にアクセスできるようになる。

1. **UNHCRとEAC、難民問題に係るMOUを調印（１９日付、デイリーニュース紙、シチズン紙）**

UNHCRとEACは、２０１０年に両組織の間で締結された覚書に続くものとして、地域全体で国際的な保護を必要とする難民問題に取り組むためのMOUに調印。

**５　治安関係**

1. タンザニア、海上犯罪との闘い強化（２５日付、デイリーニュース紙）

タンザニア政府は、ザンジバル海事当局との間で協定を締結し、違法な無報告・無規制漁業などの海洋犯罪との闘いを強化しようとしていることを公表。

（了）